

トピック

年末の防犯対策

狙われない、侵入されない家

年末は何かと忙しく、防犯意識が薄れがちです。外出する機会も増えるため、空き巣などの侵入犯罪に対する十分な注意が必要です。年末に向けてわが家の防犯対策を見直しましょう。

狙われやすい家

侵入盗は、犯行の前に入念な下見を行い、成功する可能性が高い家に狙いをつけます。

- ・ 狙われやすい家は次のとおりです。
- ・ 無施錠の家
- ・ 一目で留守とわかる家
- ・ 侵入しやすく逃げやすい家
- ・ 隣から見通しの悪い家

効果的な対策

次のような対策で、侵入盗に狙われにくく、侵入されにくい家にすることができます。

- ① 留守を悟られないようにする
 - ・ 新聞や郵便をとめる。新聞店や郵便局に申し出て配達を停止してもらう。
 - ・ 照明やラジオなどをつけておく。あるいは暗くなると自動点灯する照明を活用する。

- ② 確実な戸締まりと施錠をする
泥棒は、侵入に五分以上かかると犯行をあきらめると言われています。

特殊詐欺にも要注意

還付金詐欺などの特殊詐欺の被害も増えています。他人事と思わず、犯罪被害の防止対策を心がけてください。

●在宅時も留守番電話を活用する

言葉巧みな犯人と直接対応する機会を遮断できます(犯人は留守番電話を嫌がり、電話を切ります)。

●ATMから振り込まない

電話で銀行やコンビニなどのATMでの振込を誘導するのは詐欺です。医療費の還付や年金の手続き、投資の勧誘などの話は要注意です。

●決まり文句を覚えておく

「電話番号が変わった」「カバンや重要書類などを失くした」「女性問題を起こした」などは、詐欺の手口として使われる決まり文句です。

●あわてない、一人で判断しない

落ち着いて要点をメモし、いったん電話を切り、家族や警察に相談してください。

愛知県警察本部 ☎ #9110
西枇杷島警察署 ☎ 052・501・0110

- ・ ドアはツーロックにし、窓には補助錠をつける。
- ・ ピッキングに強い鍵に取り換える。
- ・ ごみ出しや子どもの見送りなど、たとえ短時間の外出でもこまめに施錠する。
- ・ 浴室の小窓や格子付きの窓も施錠を徹底する。

- ③ 侵入しにくい環境を整える
 - ・ センサーライトやブザー、防犯カメラなどを設置する。
 - ・ 歩くと大きな音がする玉砂利を敷く。

防犯対策の再チェック

- ・ 侵入の足場になるような脚立や箱のようなものを置かない。
 - ・ 植木の剪定を行うなど、見通しをよくする。
 - ・ 不審者を寄せ付けないよう地域で声掛け、あいさつを心がける。
- 年末年始に向けて、我が家が狙われにくく、侵入されにくい家であるか、日常的な備えや意識、具体的な対策などを再チェックしてください。

▼問合せ 防災安全課防災安全係 ☎ 28・0355